

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：どりーむ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：松木 智子	定員（利用人数）：120（127）名	
所在地：〒212-0057 川崎市幸区北加瀬1-31-5		
TEL：044-580-3020	ホームページ： http://nagaof.jp/dream/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2007年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 長尾福祉会		
職員数	常勤職員：24名	非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：24名	看護師：1名
	管理栄養士：3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：厨房
	居室：1歳児室	設備：配膳室
	居室：2歳児室	設備：喫茶活動室
	居室：3歳児室	設備：子育て支援センター
	居室：4歳児室	設備：事務室
	居室：5歳児室	設備：応接室
	居室：一時保育室	設備：生活支援室
		設備：医務室
		設備：職員室
		設備：施設長室
		設備：相談室
		設備：職員控室
	設備：エレベーター	
	設備：園庭	
	設備：トイレ	

③理念・基本方針

<理念>

“ふれあう人みんな笑顔に”の法人理念に沿い、子ども一人ひとりを大切にし、保護者との信頼関係の中で、地域に愛される施設運営を目指す。

<基本方針>

人との関わりをとおして、豊かな人間性を持った子どもを育てる。

各年齢の発達の視点をおさえ、一人ひとりに応じた保育をし、小学校に繋がる保育を目指す。

＜保育目標＞

1. 丈夫な身体で生き生きと（集中して）遊べる子ども
2. 友だちと一緒に活動する喜びがもてる子ども
3. 自分の思っていることが言え、人の話が聞ける子ども
4. 豊かな感性と表現力を持った子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

＜どりーむ保育園の特徴的な取組＞

1. 私たち社会福祉法人 長尾福祉会は、笑顔のなかで育まれる、安心と成長を大切にします。
2. “子どもの伸びる力は無限大を心に” 一人ひとりの「好きなこと」を大切に、子どもが秘めている限りなく伸びる力を支援し、自信へとつなげていきます。
3. 夢見ヶ崎動物公園の近く緑豊かな環境に位置し、園庭や戶外遊びでのびのびと身体を動かす事ができます。日々の保育の中に体幹を鍛える運動遊びを取り入れており、幼児クラスでは月に2回専門の体育講師による体操教室に参加します。就学までにたくさんの経験を重ね「運動遊びが大好きな自律した」子どもを育てます。
4. 乳児期は「子どもの育ち」を見通しながら「生活と遊び」を中心としたクラス別保育を行います。幼児期は健康・人間関係・環境・言語・表現等の領域に応じて「就学までに育て欲しい10の姿」を見据えたクラス別保育を行い、自信をもって就学できる保育を目指します。
5. 子育て支援センターかんがるーを併設し、専門スタッフが常駐して育児の不安に寄り添い、地域の子育て親子の支援をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年07月05日（契約日） ～ 2025年02月06日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【どりーむ保育園の概要】

- どりーむ保育園（以下、当園という。）は、社会福祉法人長尾福祉会（以下、法人という。）の運営です。
法人は、平成11年に設立され、障がい者施設の外、保育園2園（当園、どりーむ東小倉保育園）、通所施設、相談支援、グループホーム2か所も含め、全部で12施設を運営しています。令和元年より新たな夢の実現に向け、法人理念「ふれあう人 みんな笑顔に」の下、一人ひとりに寄り添う気持ちを大切に、障がい部門理念「一人ひとりが主人公」、保育部門理念「子どもの伸びる力は無限大」の考え方の下、日々、園児、利用者と一緒に楽しく生活し、理念の推進を目指しています。
- 当園は、JR南武線「鹿島田駅」から徒歩15分、JR「新川崎駅」から徒歩7分の住宅地の中にあります。
園の近くには川崎市立日吉小学校、夢見ヶ崎動物公園があり、自然環境に恵まれ、子育て世代が多い地域です。園舎は鉄筋コンクリート造3階建の複合福祉施設「サポートさいわい」の中にあり、1・2階が保育園、3階は障害者福祉サービス施設「セルフきたかせ」になっています。園舎内に地域子育て支援センター「かんがるー」を併設し、保育園の専門性を生かした地域の子育て支援をサポートしています。また、玄関横には障害者支

援に携わるカフェ「あんてろーぷ」が設置され、障害を持つ方と自然に触れ合うきっかけになっています。姉妹園「どりーむ東小倉保育園」も徒歩15分程の距離にあり、連携した取組が成されています。

●当園の定員は120名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在127名の園児が在園しています。広い園庭や屋上にプールも有し、子どもたちが伸び伸び遊べる環境です。室内もゆったりとしたスペースに、各年齢別の保育室（1階：0歳～1歳児・一時保育室 2階：2歳～5歳児）があります。全職員は「子どもの伸びる力は無限大」をモットーに、一人ひとりに寄り添い、「すきなこと」を大切に、笑顔と意欲が溢れる保育園です。

◇特長や今後期待される点

1. 【子どもの個性を伸ばす保育】

当園では、どりーむの保育「各年齢の視点をおさえ、一人ひとりに応じた保育を心し、小学校につなげる保育を目指します。」を掲げ、年齢に応じて子どもが自発的・自主的に生活や遊びができるよう環境を整えると共に、一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、好きなこと・得意なことが生かせるよう取組んでいます。職員は、子どもをよく観察し、何を求めているのか、どのような手立てが必要なのか等を見極め、各クラスの担任間で共通認識を図り、指導計画・個別指導計画等を作成し、保育実践に生かしています。また、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を0歳児から見据えて、どりーむ3つの力育て（①身体活動の力、②精神活動の力、③社会活動の力）に取組んでいます。中でも、身体活動面では基礎能力を高める体育遊具が豊富に用意され、外部講師による体操教室の他、職員一体となって各年齢に応じた体作りが成され、子どもたちの健康につながっています。環境的にも恵まれ、広い園庭・近隣に緑豊かな公園もあり、子どもたちは伸び伸びと戸外遊びを楽しんでいます。職員は、常に子どものやりたいことができるよう一緒に考えて取組み、子どもの頑張りやあきらめない気持ちを大事に、褒めたり、励ましたりしながら達成感を味あわせて自信につながっています。就学した小学校でもリレーの選手が多く、一人ひとりの力が発揮されています。正に「子どもの伸びる力は無限大」につながる保育と言えます。今回の利用者（保護者）アンケートにも「子どもを理解している」、「運動遊びが充実」、「のびのびと遊べている」、「子どもの気持ちに寄り添っている」等々の意見が多く寄せられ、保育への満足が窺われます。

2. 【連携したチーム保育】

当園の特徴の1つに、職員間のチームワークの良さが発揮されていることが挙げられます。開園当初から継続して勤務している職員が多く在籍し、保育士としてのスキルが高く、どりーむの保育を継承しつつ後輩保育士に伝えるOJT体制がしっかりと根付いています。調査日にも主任保育士が3歳児クラスに入り、リズム遊びが展開され、子どもたちが楽しそうに歓声を上げ、飛んだり跳ねたりしている姿が見られました。また、園長自らも保育に入り、年長児対象に「文字遊び」を定期的に行い、文字への興味・関心を深め就学に向けた取組の一端を担っています。栄養士や看護師等の専門職との連携も良く、食育や健康指導が毎月、計画・実施されています。看護師によるプライベートゾーンの指導には定評があります。全職員は、園内研修及び園外研修を通して学び合い、互いに尊重する心、性差別や先入観による固定的な対応をしないことを共通認識し、子どもの人権に十分に配慮した保育を行っています。今回の利用者（保護者）アンケートにも「園全体で子どもを見ている」、「手厚い保育」、「離職率が低いのは素晴らしく安心感がある」、「先生が皆明るく優しい」、「見本になり得る園」等々の意見が多く寄せられているように、安定した保育運営の下で、元気で明るい職員集団の力が大いに発揮されていると感じました。

3. 【食育活動の推進】

当園は、障がい者サービス事業所との複合施設であることから、施設内の調理室でシダックスフードサービス（株）に委託し、川崎市公私立統一献立を基本に完全給食を実施しています。毎月の献立は、栄養士（委託）が工夫を凝らし、子どもたちに喜んで食べてもらえるよう見た目も楽しく、彩りを考えて作成されています。誕生会メニューは、子ども・保護者から「かわいい!」と大好評です。栄養士は、年間食育計画に沿って、保育士と連携しながら、季節に応じた食育活動に取り組むと共に、さらに工夫を重ねシダックスキャラクター「モグちゃん」を食育キャラクターにした活動を展開しています。着ぐるみで登場の栄養士「モグちゃん」は子どもたちに大人気で、触れ合いを通して「三色食品群」や食べ物と体の関係を学び、子どもたちは苦手な物も食べてみようとする姿が見られ、残食がほとんどありません。さんまの解体の観察から、年長児には一尾を提供し、子どもたちの発見「ハート見つけた!」等々を大切に、栄養士・調理員が食べ方の指導まで行っています。また、園行事に合わせた取組はユニークであり、「お弁当会食」（シダックス特製弁当）では、子どもたちに人気のメニューをかわいいモグちゃんのパッケージに詰めて提供し、夏祭りでは金魚すくい（人参やオレンジで作製の金魚を入れたゼリー）を子どもたちが各々掬い取り、おやつに食べていました。施設の構造上給食室が見えにくい点から、年長児対象に衛生面に十分配慮し、調理の様子を見せる「給食見学会」も計画・実施しています。委託業者とは思えない連携の良さと、極めて稀なケースと感じました。

4. 【地域の福祉ニーズへの取組】

当園が立地する鹿島田、新川崎地域はマンションが立ち並び、近隣小学校は在校生が1,000人規模で、令和7年度には近隣に小学校が新設される程、若い子育て世代が増えています。当園が併設している子育て支援センター「かんがるー」には連日30組程の近隣親子が訪れ、情報交換や交流の場になっています。イベント（育児講座・相談、わらべ歌会、絵本の読み語り等）には多くの予約があり、保育園の専門性を生かした地域の子育て支援をサポートしています。しかしながら、地域には母子が孤立し、不安な育児をしているケースが多いことから、さらに子育て支援に力を入れていく必要性を感じています。当園では、「これまで積み重ねて作り上げた『どりーむの保育』を守り、将来を見通し継続運用していけるよう当園の特色を発信し、近隣保護者から選ばれる保育園を目指す。」を中・長期ビジョンに掲げています。地域の福祉ニーズの変化を把握し、保育園ならではの特色を生かした取組の計画・実行に期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 社会福祉法人 長尾福祉会 どりーむ保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

園に寄り添うあたたかな訪問調査と保護者アンケート調査を受けることにより、運営を見直す良い機会となりました。評価基準のプロセスが職員の学びとなり、各々の保育の見直しにつながっています。

「自己評価表」の基準項目の検討は、同じ世代の職員でグループ分けをし、話し合いを重ねることで会話が弾み、思いを共有してまとめ上げ、理念から保育サービスまでを丁寧に考察しました。

課題点も文章化されて拳がり、施設長として反省と学びになっています。運営の指標と

なる「法人の理念と運営方針について」職員への継続的な説明の機会がなかったことに気付きました。日々の保育や行事に追われる中でも管理職間で検討した「事業の計画・報告」と「保育士として期待する姿」について職員にさらに周知し、保育士・看護師・栄養士・子育て支援職員・保育補助者、みんなで共有していきます。

保護者アンケートでは、短期間にも関わらず90%の回答をいただき、保護者の皆様の関心の高さに感謝の気持ちと責任の重さを実感しています。貴重なご意見の中には、励ましの言葉を多くいただき、職員たちは感動で胸が熱くなり保育への意欲が向上しています。この思いを忘れずに研鑽を重ね、法人理念である「ふれあう人みんな笑顔に」なるよう、より良い「保育サービスの向上」に努めてまいります。

《評価後取組んだこととして》

1. 職員全体でアンケート結果を共有し、できることから改善を始めています。要望のあった玄関前の雨避けについては建築業者に依頼しています。（建蔽率の問題があり検討中）

2. 法人理念、経営状況、事業計画を全職員へ周知できるように、毎年作成している年間事業計画の説明と配付を行いました。

3. 保護者連絡アプリ「コドモン」をより有効に利用して、「保育の見える化」を始めています。保育ドキュメンテーションを利用して写真の公開をし、より分かりやすく保育の様子を伝えています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり